

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：木村 昌司

事業名	一般国道184号 尾道拡幅		事業区分	一般国道	事業主体	広島県
起終点	自：広島県尾道市新浜 至：広島県尾道市栗原町			延長	4.2 km	
事業概要	<p>一般国道184号は、島根県出雲市を起点とし広島県尾道市に至る延長約179kmの幹線道路である。尾道拡幅は、尾道市内の交通混雑緩和及び山陽自動車道尾道ICへのアクセス向上を目的とした延長約4.2kmの4車線道路である。</p>					
S61年度事業化	S60年度都市計画決定	S61年度用地着手	S61年度工事着手			
全体事業費	約250億円	事業進捗率	44%	供用済延長	2.1 km	
計画交通量	11,500~16,900台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.1 B/C (残事業) 4.2	総費用 (残事業/事業全体) 110/267億円 事業費：108/263億円 維持管理費：3/4億円	総便益 (残事業/事業全体) 468/557億円 走行時間短縮便益：435/520億円 走行費用減少便益：19/22億円 交通事故減少便益：13/15億円	基準年	平成18年	
感度分析の結果	<p>残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C = 4.7 (交通量+10%) B/C = 3.8 (交通量-10%) 事業費変動：B/C = 3.9 (事業費+10%) B/C = 4.7 (事業費-10%)</p>					
事業の効果等	<p>現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。 主要な観光地へのアクセス向上が期待される。 他7項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	<p>本路線は、南北幹線として市民生活にとって極めて重要な路線である。山陽自動車道、新尾道駅など、広域高速交通網の整備が着実に進む中で、これらと連携機能を有する国道184号の拡充は極めて重要な課題であり、整備促進の要望（平成18年4月）を受けている。</p>					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等	<p>平成17年3月28日に御調町・向島町、平成18年1月10日に因島市・瀬戸田町と合併し、当該路線は新市建設計画の主要施策（主要幹線道路網の整備）に位置付けられている。</p>					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>尾道市栗原町の現道拡幅区間1.1kmと平原土地区画整理事業地内1kmについて、すでに部分供用しており、今後尾道市新浜から尾道市門田町までのバイパス区間を整備促進を図る。</p>					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>今後、バイパス区間の用地買収の促進を図る。</p>					
対応方針	<p>以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。</p>					
事業概要図	<p>The map illustrates the project route along National Route 184. It starts at Shinobu (尾道市新浜) and ends at Kurahara (尾道市栗原町), with a total length of 4.2 km. Key features include the JR crossing bridge (L=101m), the San'yō Expressway (山陽自動車道), and the expansion of the existing road into a 4-lane road. Landmarks such as the Shinobu Station (新尾道駅) and the Bin-go Sports Center (びんご運動公園) are also shown. The map also indicates the location of the 'Heiwa' (平原) area and the 'Heiwa' (平原) area plan. A north arrow is present in the top right corner.</p>					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。